

学校関係者評価報告書

奈良学園小学校

1. 学校関係者評価実施日 平成 31 年 2 月 7 日 (木)
2. 評価者名 犬丸理絵、木村知美、高橋亜紀、林美幸、筒井啓美、西岡祐子
進藤美幸、山川賀子

3. 評価結果

1 学期及び 2 学期に実施した保護者アンケート結果に基づきご意見を頂戴した。アンケート結果は、どの項目においても昨年に比べて肯定的にとらえていただく割合が高い結果であった。しかし、学年が上がるにしたがい肯定的な割合は低くなる傾向には変わりなく、「学級だより」や「学年だより」で学校の様子を丁寧にお伝えするように取り組んでいる。その中でも特に留意しなければならない意見は以下のとおりである。

(大項目) I 教育活動に関するもの

(中項目) (6) 生徒指導

- ・「いじめ」と「悪ふざけ」の違いを判断することは難しいと思うが、結果として「いじめ」事象に発展しないためにも、悪ふざけの叩く、蹴る、物を取るなどの事象が発見されれば、その日のうちに対応していただきたい。
- ・スクールバスに乗車している児童の乗車マナーが良くない状況が散見される。添乗員の方たちも乗車されているが、十分な指導が行き届いておらず、指導を徹底していただきたい。
- ・学園前駅を利用している児童が、ランドセルを地面に置いて走り回って遊んでいる場面を見かけた。他の利用者にとって良い印象ではなく、指導をお願いしたい。
- ・高の原行きの路線バスを利用している中高生が下車時に「ありがとうございました」と挨拶していた。その姿を見た小学校児童も同様に挨拶していた。幼稚園から高校までであるこの学校の良さは高学年の立派な姿勢を見られること。このような良い点を指導に活かしていただきたい。